



### おたよりコーナー

いつもたくさんのお便りをありがとうございます。

- 毎月しっかり目を通しています。参加できる行事には、できるだけ出掛けようと思います。先日は、「石橋見学」に行きました。楽しかったです。
- 以前は全く興味がありませんでしたが、クイズに応募するようになってからは答えがどこに載っているのか探るのが楽しくて隅々まで読んでいます。いろいろとためになることが書いてあり、今までちゃんと読むべきだったと気づかされました。

- 佐世保も合併によってたくさんの地区ができたことを市民の一人として嬉しく思います。わたしたちのすばらしい佐世保を市民一体となつてつくっていくことでいい佐世保になると思います。
- 「思い出の一枚」が好きで、毎回とても楽しみです。幼いころや昔の写真は貴重な財産です。
- 「思い出の一枚」は、わたしの知らない佐世保の風景を知ることができ、楽しみです。

#### (広報係から)

「思い出の一枚」への感想もたくさん寄せられました。写真を見て、昔を懐かしく思い出す人もいれば、昔の佐世保のまちの風景などが新鮮に感じられる若い世代の人たちもいるかもしれませんね。  
皆さんの思い出がいっぱい詰まった写真を募集しています。どうぞお寄せください。

### 広報クイズ

問題の○中に文字を入れてください。答えのヒントは、紙面の中にあります。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書カードをプレゼントします。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

- 問題① 国の重要文化財に指定されている黒島天主堂の内部の天井はリブ・ヴォールト形式(○○○天井)と呼ばれています。
- 問題② 佐世保市総合計画(基本構想)の中間素案で示された佐世保市の将来像は、「ひと・まち育む“○○っ都”佐世保」です。
- 問題③ 環境エンリッチメントに取り組む市亜熱帯動植物園では、年間○○○○会員を募集しています。

※前回の答えは①フリーシアン ②武者 ③はたちでした。ご応募ありがとうございました。

## 市民公益活動団体自立化支援基金にご協力を ～皆さんの善意がまちづくりに生かされます～

本市では、「市民協働によるまちづくり」を推進しています。

そこで、その担い手の一つである市民公益活動団体(NPO法人やボランティア団体など)の活動がますます活性化し、自立することを目的とした基金を創設しました。

この基金は、市内の市民公益活動団体の運営基盤を強化するために行う、財政面の支援のための財源となっています。

#### ■基金の運営方法

基金は、篤志家からの寄付金を原資として創設し、市民からの寄付金とその寄付金と同額(限度額200万円)を市が拠出するマッチングギフト方式と呼ばれる方法で運営しています。まさに、市民の皆さんと行政と一緒に作り上げていく仕組みです。

#### ■基金の使い道

この基金を財源として「市民公益活動団体自立化支援補助事業」を運営しています。

#### ●今年度の実績

ファーストステップ補助金(初動期支援補助金)2団体  
スケールアップ補助金(事業拡大期補助金)4団体

#### ■寄付金の募集

「ボランティア活動には参加できないけど、活動を応援するために“寄付”という形でならば参加できる」という市民の皆さんの思いをカタチにできる基金です。

寄付金の受け付けは、随時行っています。寄付をお考えの方は、ご連絡ください。

#### ●お尋ね

市役所市民協働推進室 (☎0956-24-1111)

## 思い出の一枚

### 昭和18年ごろの佐世保工業学校実習風景

松川町 菰島 正之さん(79歳)

これは、八幡神社(八幡町)で行われた佐世保工業学校(現県立佐世保工業高等学校)・機械科の溶接実習の際に撮影された写真です。

当時、16歳くらいだったわたしは、写真の最上部に写っています。わたしは、昭和18年10月1日に鹿兒島航空隊に入隊しましたので、その直前に撮影されたものだと思います。

戦後、昭和20年12月に佐世保に帰郷しましたが、空襲で家は焼け、写真は何一つ残っていませんでした。戦争のために学校の卒業式もできませんでしたので、昭和50年ごろ、わたしは級友に呼び掛け、何十年ぶりかで卒業式を行いました。この写真は、そのときに再会した級友が送ってくれたものです。

戦前、八幡神社には戦利品の大型の大砲などが境内に飾ってありました。戦争中、しかも大砲が写っているこの写真を送るのはどうかと思いましたが、わたしにとっては、大切な思い出の一枚です。



#### 【懐かしい佐世保の写真をお寄せください】

写真にまつわるお話と住所、氏名、電話番号を書き、「思い出の一枚」担当あてと明記してください。